

## 平成 21 年度 第 2 回杉並区障害者福祉推進協議会 次第

- 1 協議会開会（保健福祉部長）
- 2 会長挨拶
- 3 報告
  - (1) 「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」について
  - (2) 第 2 回杉並区地域自立支援協議会について
  - (3) 杉並区の新型インフルエンザ流行状況について
  - (4) 東京都難病医療費助成制度の変更について
  - (5) 杉並区災害時要援護者対策について
- 4 その他
  - ①長寿応援ポイント事業について
  - ②保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書
  - ③杉並区自殺対策について～取り組み状況とポケットブック～
  - ④阿佐谷生活園改築について
  - ⑤マイルドハート高円寺なでしこの運営状況報告

### 【配布資料】

- 資料 1 「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」の策定について（冊子 当日配布）
- 資料 2 第 2 回 杉並区地域自立支援協議会
- 資料 3 インフルエンザ流行状況について
- 資料 4 東京都難病医療費助成の変更について
- 資料 5 地域のたすけあいネットワーク（地域の手）の進捗状況について
- 資料 5 別紙 「地域のたすけあいネットワーク」取り組み状況について（震災救援所）
- 資料 6 平成 21 年度震災救援所訓練の実施状況について
- 資料 7 長寿応援ポイント事業リーフレット（当日配布）
- 資料 8 「平成 20 年度杉並区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書」冊子（当日配布）
- 資料 9 自殺対策推進部会の取り組み状況について（報告）
- 資料 10 パンフレット「マイルドハート高円寺なでしこ」（当日配布）

障害者福祉推進協議会  
平成21年12月22日  
保健福祉部障害者施策課

「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営  
に関するガイドライン」の策定について

「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」  
について、下記のとおり策定しましたので報告します。

記

1 策定の経緯

平成20年度の杉並区地域自立支援協議会の地域移行促進部会より、グループホーム設置・運営のガイドラインの作成について提言がされた。

グループホームの施設整備にあたっては、そのあり方や運営方法などについて、利用者や事業者からの意見なども取り入れたガイドラインを作成する必要がある、学識関係者、利用者、世話人、サービス管理責任者、相談支援関係者、医療関係者、福祉事務所関係者、行政関係者から成る14名の委員で検討し、作成した。

2 ガイドラインの目的

障害者の地域生活における住まいとなる、グループホーム・ケアホームについて、設置・運営の具体的な方針を示し、施設整備への事業所参入を促すとともに、サービスの質の確保を図る。

3 配付先

関係グループホーム、区内各相談支援事業所、区議会議員、関係機関等

4 今後の活用等

新たにグループホームを設置する予定の事業者等に活用していただく。また、必要に応じて改訂を行い、内容の充実を図る。

## 第 2 回杉並区地域自立支援協議会の内容について

1 **実施日時** 平成 21 年 12 月 1 日(火) 14:00~16:00

2 **場 所** 区役所 第 6 会議室

3 **内 容**

**(1) 高齢障害者の支援について 地域包括支援センター(ケア 24)との交流会報告等と今後の方向性 (相談支援部会)**

○相談支援部会からの報告をもとに、高齢障害者の支援の課題についての論議を行なった。介護保険への移行において、つなぐ時期や機関がどうあればよいかの議論をした。今後も継続的な連携と事例の積み上げをしていくことを確認した。

**(2) 地域医療に関するアンケートについて (地域移行促進部会)**

○地域移行促進部会から、地域での暮らしを支援するため、地域の医療についての検討を行っている報告を受けた。報告をもとに、障害者が安心して医療機関にかかるための必要な情報や受診・服薬を継続するためにどんな支援が必要かの実態把握のため、アンケートを実施内容等について論議した。目的を明確にして、今後、医療機関と連携していくための参考資料となるアンケートであったらよい等の意見があった。

また、医療機関にかかるために、本人の状況を伝えるための服薬ノートの作成内容や、支えるための人的支援体制について論議した。災害時にも役立つものであればよいなどの意見があった。

**(3) 発達障害者の相談支援について**

○相談支援事業で大きな課題となっている発達障害者の支援について論議した。事例紹介と相談支援事業所、就労支援機関、学校などから現状の報告をした。障害者手帳を持っていない方の支援が課題で、当事者を含め家族や周囲からの障害特性の理解や対応の難しさが指摘された。専門相談ができる機関や継続して支援をしていく場や環境が重要だとの意見が出された。今後、相談支援部会において、事例の積み重ねを行なっていくことを確認した。

**(4) 地域で実施されているネットワークの現状について**

○現在、地域にあるネットワークの実情を把握し、今後の自立支援協議会の専門部会のあり方などについての論議をした。障害福祉サービスについて、地域で自立した生活をしていくための必要なサービス等を検討する部会などの設置が必要である等の意見があった。既存の会議体の機能を活かしつつ、お互いを有機的につなげる方法、意見や課題を自立支援協議会につなげる必要がある、などの論議があった。

**(5) 報告**

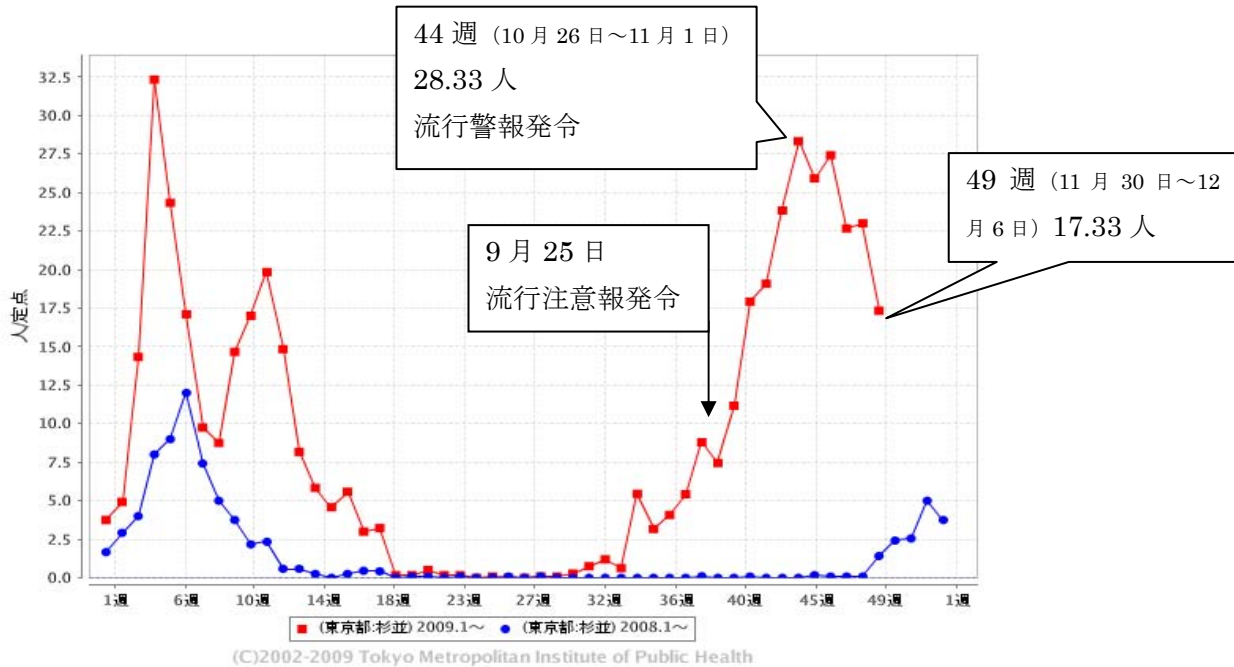
- ・ 就労の状況(就職者数、最近の課題(就労移行支援事業の課題、B型事業所の課題等))
- ・ 「グループホーム・ケアホーム設置運営に関するガイドライン」について

**4 その他**

次回 日程等 3/12(金)とした。

## インフルエンザの流行状況について

### 1 流行等の現状 (定点医療機関から報告数)



### 2 区内学校等の休業状況 (12月11日現在)

月	件数
9 月	1 3 5
1 0 月	2 9 1
1 1 月	2 8 6
1 2 月	3 8

### 3 ワクチンの接種スケジュール (12月11日現在)

開始 (予定) 日	優先接種対象者等
10 月 26 日から	医療従事者
11 月 9 日から	妊娠中の方、基礎疾患のある方 (入院等の重症の方など)
11 月 16 日から	1 歳～就学前の小児、基礎疾患のある方 (9 日開始対象以外の方)
12 月 5 日から	小学校 1 年生から 3 年生相当の小児
12 月 19 日から	1 歳未満の小児の保護者など、小学校 4 年生から 6 年生相当の小児
22 年 1 月以降	中学生～高校生相当の方、65 歳以上の高齢者

## 東京都難病医療費等助成制度の変更について

平成 21 年 10 月 30 日から、新たに下記 11 疾病が国が指定している難病医療費助成の対象疾病に追加されました。

46 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)

47 脊髄性筋萎縮症

48 球脊髄性筋萎縮症

49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎

50 肥大型心筋症

51 拘束型心筋症

52 ミトコンドリア病

53 リンパ脈管筋腫症(LAM)

54 重症多形滲出性紅斑(急性期)【重症疾病:助成期間原則6か月】

55 黄色靭帯骨化症

56 間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)

○ 申請は平成 21 年 12 月 1 日から各保健センターで受け付けを開始。

○ 申請を受け付けてから審査を行い、認定となった場合は医療券を交付。

○ 平成 21 年 12 月末までに申請を受理され、審査の結果認定された場合の医療費助成開始日は平成 21 年 10 月 1 日から。上記以降の申請受付の場合の助成開始日は申請日から。

平成 21 年 12 月 22 日  
保健福祉部管理課

## 地域のたすけあいネットワーク(地域の手)の進捗状況について

### 1. 災害時要援護者原簿について

災害発生時に、区長の判断により原簿を警察署・消防署・消防団・震災救援所運営連絡会に提供し、要援護者の安否確認等に活用する。原簿は、平常時は区が管理し、3か月ごとに情報を更新する。

※原簿登載者数…21,373名(平成21年12月4日現在)

### 2. 地域のたすけあいネットワーク(地域の手)について

原簿登載者に登録の勧奨を行い、申込みのあった要援護者の状況や必要な支援内容の情報をもとに「登録者台帳」を作成し、平常時から震災救援所運営連絡会・民生児童委員・警察署・消防署・消防団分団に提供する。提供された台帳は、安否確認など災害時の支援に役立てるとともに、震災救援所運営連絡会において、「避難支援計画」を策定するために活用する。

さらに、登録者一人ひとりへの支援の充実化を図るため、民生児童委員による「個別避難支援プラン」の作成も推進している。

※登録者数…5,658名(平成21年12月4日現在)

### 3. 取組み状況について

#### (1) 21年度新規に取組みを開始する震災救援所(19か所)

6月下旬 登録勧奨通知を発送 ☞登録の受付  
9月中旬 登録者台帳の作成・配付(以後3か月ごとに更新)  
10月～ 避難支援会議の開催(数回開催)

#### (2) 19・20年度に取組みを開始した震災救援所(28か所)

4月～ 避難支援会議の開催(数回開催)、登録者台帳の更新(3か月ごと)  
9月下旬 未登録者を対象に登録の再勧奨通知を発送 ☞登録の受付

※震災救援所の詳細は別紙のとおり

### 4. 支援制度の周知と登録の促進への取り組みについて

9月中旬 「広報すぎなみ」に制度紹介及び登録呼びかけ等の記事を掲載  
10月下旬 町会・自治会に啓発用ポスターの掲示及びチラシの回覧を依頼

## 「地域のたすけあいネットワーク」取組み状況について(震災救援所)

実施開始年度	震災救援所(学校)名
19年度	旧杉並第五小学校
	杉並第十小学校
	東田小学校
	東田中学校
	桃井第二小学校
	桃井第三小学校
	松ノ木小学校
	大宮中学校

実施開始年度	震災救援所(学校)名
20年度	杉並第七小学校
	杉並第八小学校
	杉並第九小学校
	馬橋小学校
	桃井第四小学校
	桃井第五小学校
	井荻小学校
	高井戸第二小学校
	松庵小学校
	高井戸東小学校
	和田小学校
	永福小学校
	和泉小学校
	和泉中学校
	高円寺中学校
	井荻中学校
	荻窪中学校
	宮前中学校
高井戸中学校	
向陽中学校	

実施開始年度	震災救援所(学校)名
21年度	杉並第二小学校
	西田小学校
	桃井第一小学校
	沓掛小学校
	高井戸第三小学校
	大宮小学校
	堀之内小学校
	八成小学校
	三谷小学校
	永福南小学校
	高南中学校
	杉森中学校
	松溪中学校
	天沼中学校
	中瀬中学校
	神明中学校
	松ノ木中学校
	泉南中学校
和田中学校	

実施開始年度	震災救援所(学校)名
22年度	杉並第一小学校
	杉並第三小学校
	杉並第四小学校
	杉並第六小学校
	四宮小学校
	荻窪小学校
	高井戸小学校
	高井戸第四小学校
	浜田山小学校
	富士見丘小学校
	新泉小学校
	方南小学校
	済美小学校
	久我山小学校
	天沼小学校
	阿佐ヶ谷中学校
	東原中学校
	井草中学校
富士見丘中学校	
西宮中学校	

平成 21 年 12 月 22 日  
保健福祉部管理課

## 平成 21 年度震災救援所訓練の実施状況について

### 1. 災害時要援護者支援訓練の実施状況

震災救援所(旧杉五小震災救援所を含む)全 6 7 か所のうち、要援護者対応訓練を実施した救援所は、計 3 1 か所(※)であった。

※ 和泉小と和泉中は合同で震災救援所運営連絡会をつくり活動しているため、両校合わせて 1 か所とした。

### 2. 要援護者対応訓練の内容

- 数名の班で要援護者(本人協力者又はダミー)宅を訪問し、安否確認を行う。
- 要援護者(前記同)宅から救援所まで避難誘導又は車椅子・リヤカー等での搬送を行う。
- 救援所に避難した要援護者(前記同)を、車椅子等を使用して救援所内の対応場所まで搬送・誘導する。
- おんぶ紐、レスキューキャリーマットなどの要援護者用資機材の搬出及び操作訓練を行う。



自殺対策推進部会の取組み状況について(報告)

1 杉並区自殺予防月間(春・秋)実施結果

(1) イベント・講演会

	名称	日程	場所	講師等	主催	参加者
春の自殺予防月間(5月)	自殺対策シンポジウム 「いのちを支える」	5/9(土)	産業商工会館	生越照幸(弁護士)、清水康之(ライフリンク代表)、熊谷直樹(医師)	杉並区	90
	上映会と対談 「地球交響曲第五番」	5/10(日)	立教女学院	龍村仁(映画監督)、大野明子(産科医)	杉並・地球交響曲第五番上映実行委員会【杉並区共催】	198
	認知症予防講演会 「知的好奇心生活を始めよう」	5/14(木)	杉並公会堂	東海林のり子(キャスター)	杉並区(介護予防課)	796
	心に残るコンサート 「バロックで癒しとくつろぎを」	5/15(金)	杉並保健所	撫子コンサート	荻窪音楽祭【杉並区共催】	30
	講演会「知って活かそう! うつ病の話 ~うつ病の正しい知識と治療」	5/17(日)	杉並保健所	樋口輝彦(国立精神神経センター)	杉並区	66
	パネル展示 「自死者のメッセージ~遺族語る~」	5/15(金)~22(金)	杉並保健所	NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンクより借用	杉並区	150
	講演会「大切な人を亡くさないために」	5/30(土)	今川図書館	飯田佳子(「風のとびら」代表)	杉並区(今川図書館)	17
	家族のためのうつ病講座「家族・周囲の方が知っておきたい知識」	6/16(火)、22日(月)、29日(月)	阿佐谷地域区民センター	山口律子(日立キャピタル)	杉並区	97
秋の自殺予防月間(9月)	講演会「知って活かそう! うつ病の話 ~うつ病の正しい知識と治療~」	9/3(木)	産業商工会館	坂元薫(東京女子医科大学教授)	杉並区	84
	鎌田實氏講演会「3つのいのちのつながり 生きるということ」	9/5(土)	杉並公会堂	鎌田實(諏訪中央病院名誉院長)	杉並区	829
	心に響くコンサート 「癒しといたわりの時間」	9/8(火)	杉並保健所	日本フィル弦楽四重奏	杉並区	92
	杉並健康ネットワーク講演会 「中高年のうつ病~自分で気がつかない症状と周囲の接し方」	9/11(金)	杉並保健所	高橋亨(とおる医院院長)	杉並健康ネットワーク	60
	講演会「もしかして…『うつ』気になるこころの健康」	9/20(日)	中央図書館	楯林義孝(東京都精神医学総合研究所)	杉並区(中央図書館)	32
	心の健康セミナー 「中高年の自殺とうつ病」	9/24(木)	産業商工会館	岩下覚(桜ヶ丘記念病院院長)	杉並青色申告会	47
	講座「仕事や子育てに忙しい今だからこそ! ~現代社会を生き抜く“哲学・思想”入門~」	9/25、10/2、9、16、23、30、11/6、13(金)	セッション杉並	内山節(哲学者)ほか	杉並区(社会教育センター)	184
	ジョイフル教養講座 「女性の快適なメンタルヘルス」	9/26(土) 10/3(土)	セッション杉並	桜田美寿寿(ミズメンタルクリニック院長)	杉並区勤労者福祉協会	22
家族のためのうつ病講座「家族の方が知っておきたい知識」	9/28(月)、10/5、26(月)	阿佐谷地域区民センター	山口律子(日立キャピタル)	杉並区	63	

## (2) 相談件数

(人)

	20年5月	20年9月	21年5月	21年9月
保健センター	37	43	77	115
地域保健課	2	0	1	0
保健予防課	1	2	2	1
消費者センター	15	11	10	9
子ども家庭支援センター	—	—	4	6
済美教育センター	—	—	5	1
区政相談課(参考)	—	12	18	6
計	55	68	117	138

※ 相談内容に「うつ傾向」および「自殺」をにおわず相談を対象とする。(消費者センターについては多重債務相談)

## (3) 図書の展示

	展示テーマ	会場	展示期間
5月	「心を癒す一冊」(中央図書館)ほか各図書館でテーマを設定	中央図書館ほか12館	図書館によって異なる
9月	「今日も生きる」(中央図書館)ほか各図書館でテーマを設定	中央図書館ほか全図書館(13館)	図書館によって異なる

## (4) いのちの教育月間 (21年5・6月、9・10月)

○ 「いのちの教育月間(5・6月、9・10月)」の期間中に、小中学校全校で生命尊重に関する道徳授業の充実を図るとともに、赤ちゃんや動物とのふれあい体験など、生命の尊さを実感できる体験授業を実施

○ 「いのちの教育読書感想文コンクール」の実施

【趣 旨】 命の大切さや思いやり等が主題となる図書を読み、感じたことや思ったことを文章に表すことにより、自分や他者の命を大切にしようとする心を育てる。

【対 象】 杉並区立小中学校の児童・生徒

【表彰式及び作品の展示】 入賞作品は、平成21年10月31日(土)開催の「健康都市杉並フェア2009」(勤労福祉会館)の会場に展示し、入賞者を表彰式において表彰

## 2 会議の開催

### (1) 自殺対策推進部会

【開催日】 平成21年6月26日(金)

【内 容】 春の自殺予防月間結果報告、自殺対策事業の今後の予定及び課題について

### (2) 杉並区健康危機管理等関係機関連絡会

【開催日】 平成21年5月21日(木)

【内 容】 健康危機管理関係機関連絡会の名称を一部変更し、構成員に都立中部総合精神保健福祉センターの医師を追加することで、自殺対策関係機関連絡会の機能をもたせることにした。

### (3) 自殺対策連絡会

【開催日】 平成21年11月26日(木)

【内 容】 「相談窓口対応ポケットブック」の内容説明、区の窓口で対応した事例の検討

## 3 その他の取組み

○ 「杉並区自殺対策相談窓口対応ポケットブック」を作成し、教職員を含む全職員に配布【11月】

○ 「ゲートキーパー養成研修」を実施予定【2月】

## 会 議 録（要旨）

会議名称		平成21年度 第2回障害者福祉推進協議会
日時		平成21年12月22日（火） 午後2時から3時50分
場所		西棟8階 第9A・B会議室
出席者	委員 （敬称略）	助川・伊東・山田・笠原・斎藤・西川・高橋・山本・鈴木・杉原・小川・松浦・小林・長島・土屋・佐藤・中津・間彦・日高 （欠席）窪田・木全・西山・山内
	幹事	遠藤保健福祉部長・黒瀬保健福祉管理課長・大森障害者施策課長・末久障害者生活支援課長・片山福祉事務所高井戸事務所担当課長・和久井高齢者施策課長・河合保健予防課長（欠席）安藤児童青少年課長
	事務局	障害者施策課（福原・本館） 障害者生活支援課（鈴木（幹）・鈴木（久）） 保健予防課（櫻井）
配布資料		資料1 「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」の策定について（冊子 当日配布） 資料2 第2回杉並区地域自立支援協議会 資料3 インフルエンザ流行状況について 資料4 東京都難病医療費助成の変更について 資料5 地域のたすけあいネットワーク（地域の手）の進捗状況について 別紙 「地域のたすけあいネットワーク」取組み状況について（震災救援所） 資料6 平成21年度震災救援所訓練の実施状況について 資料7 長寿応援ポイント事業リーフレット（当日配布） 資料8 「平成20年度杉並区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書」冊子（当日配布） 資料9 自殺対策推進部会の取組み状況について（報告） 資料10 パンフレット「マイルドハート高円寺なでしこ」（当日配布）
会議次第		1 開会の挨拶（遠藤保健福祉部長） 2 会長挨拶 3 報告 （1）「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」について （2）第2回杉並区地域自立支援協議会について （3）杉並区のインフルエンザの流行状況について （4）東京都難病医療費助成制度の変更について （5）杉並区災害時要援護者対策について 4 その他 ① 長寿応援ポイント事業について ② 第2回杉並区地域自立支援協議会について ③ 新型インフルエンザ流行状況について ④ 阿佐谷生活園改築について

	⑤ マイルドハート高円寺なでしこの運営状況報告
会議の要旨	<p>1 開会の挨拶（遠藤保健福祉部長）</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 報告</p> <p>(1) 「杉並区障害者グループホーム・ケアホームの設置・運営に関するガイドライン」について 説明：大森（資料1参照）</p> <p>(2) 第2回杉並区地域自立支援協議会について 説明：末久（資料2参照）</p> <p>(3) 杉並区のインフルエンザの流行状況について 説明：河合、大森（資料3参照）</p> <p>(4) 東京都難病医療費助成制度の変更について 説明：河合、大森（資料4参照）</p> <p>(5) 杉並区災害時要援護者対策について 説明：黒瀬</p> <p>&lt;質疑応答および意見交換&gt;</p> <p>「ガイドラインについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このガイドライン作成が、新規事業者の参入を目的とするのであれば、一般向けのわかりやすいリーフレットも必要だと思う。</li> <li>・ 身体障害者のグループホーム、ケアホーム（以下GH等）も触れているか？作成委員に身体障害の当事者も参加していたか？また、協議会委員や関係団体にももう少し早く配布してほしい。</li> <li>・ 今後区の障害福祉計画の中でも、身体障害者のGH等についても、取り入れてほしい。</li> </ul> <p>○ 今回のガイドラインは、平成21年4月時点の自立支援法内のGH等を対象にしたものであり、作成委員には知的、精神障害当事者が参加している。今後の参考としたい。</p> <p>「リーフレット等について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴覚障害者への配慮として刊行物全般にFAX番号を入れてほしい。</li> </ul> <p>○ 今後利用しやすい形で配慮したい。</p> <p>「要援護者対策について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 震災救援所訓練に参加したが、要援護者対応訓練は行っていなかったが、どのような実態なのかうかがいたい。</li> <li>・ 地域の方々に理解していただくために、毎年参加しているが、もっと参加型の訓練を望みたい。</li> <li>・ 学校区域の運営連絡会を担当しているが、先進的に取り組んでいるところを見学したいと考えている。ある区域では中学生の参加による要援護者の安否確認訓練を行っていた。見学した各種訓練など参考にできたらと思っている。</li> <li>・ 聴覚障害者対応用に筆記具などを準備していただいたが、使用の可否</li> </ul>

のチェックは、どこが行うのか確認したい。

- ・ 交流館などにある自動販売機は、災害時には提供できるしくみになっているが、これらを拡大する必要があるのではないか。
  - ・ 商店会連合会で防災協定は結んでいるが、各理事によって取り組みに温度差がある。一方自分は、これらの活動を通して障害をお持ちの方への意識の変化があった。
- 各救援所運営連絡会によって、訓練の仕方や取り組みはかなり差がある。連絡会毎の課題として認識しているが、災害発生時を想定した場合は、地域の力が重要なので期待したい。欠品については震災救援所運営連絡会を通じて購入ができる。

会長 今後も、さまざまな取り組みに関する情報提供をいただき、意見交換を行なっていきたい。

#### 4 その他

① 長寿応援ポイント事業について 説明：和久井

ボランティア等多くの対象があるが、活用していただきたい。

② 保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告書について 説明：黒瀬

③ 杉並区自殺対策～取り組み状況とポケットブック～ 説明：河合

④ 阿佐谷生活園改築について 説明：大森

22年12月から24年にかけて、2箇所に分かれて移転活動することになり、利用者、職員共に環境の変化が大きいため、地域の皆様や関係者に見守っていただきたい。

⑤ マイルドハート高円寺なでしこの運営状況報告 説明：末久

- ・ 入所後は法制度上ガイドヘルプの利用ができなくなったと聞いたが、QOLが低下することのないよう施設としても、区としても調整努力をしてもらいたい。
- 運営開始からまだ日が浅く、過去の事例から見て運営が安定するには2～3年かかるものと思われるが、委託事業者と話し合いつつ改善を目指したい。

⑥ その他

- ・ 障害者の意識が変わっていく中で、GH等のガイドラインにとどまらず、もっと広い視野で障害者の地域での「住まい」について全庁的に検討する場がほしいと以前から感じていた。
- 今後の課題として受け止めたい。

#### 5 閉会 会長挨拶

本日は、短時間の中で大切な意見交換ができた。自立支援法の行方を見据え、障害者の生活がどう変わっていくのか見守りましょう。

次回3月下旬（第2回定例議会終了後）予定